先生の絵は印象派といえる、印象派は創幹を取んじる。だが山間 の風景はあまり悠彩的とはいえない、豊かな色を島相手島に、田内 の紅葉するハゼの並木に、自宅のバラの花に求められた。ここに誰 絵の魅力にとり添かれた先生の姿が同われる。

先生の作品には、われわれ後輩がいかに努力しても違いつけぬ気 品がある。前期田清輝の流れを没む格闘の高いものがある。時代を 超越した清冽な環を感じる。われわれは芸術も理話と考えるが、先 生には芸術は一段を高いところにあるべきだとの信念があった。

中井先生の竹島の話はあまりに有名で、数えを受けてこの話を提 かなかった人はない筈である。先生の美校卒業制度、日本の津雨界 には野心的で男性的なテーマをもった青木館の「海の幸」。相由三 造の「雨風」といった大作が現われた、中井先生もそれらに利意さ れて、当時親戚の流場であった無人為の竹島を題材に選んだ。ここ での経は後年竹島の毎調問題で外務者の資料となった。

先生は性筋温和で実成で、野心的なところがなく、竹島では手柄 された絵の収穫は得られなかったようだ。しかしこのような性質こ そ美術教育家として成功をおさめた所以と思われる。

先生は前田寛治の卒業後赴任して来られたので前田寛治は食中で は教わることがなかったが、彼は頂人中に先生の勤弊を受けた。 務 をして美税受験を読意させたのは、先生の感化によるところが大き かったと思う。倉吉輔方の美術人口は、鳥取や米子に較べて、その 比率が断然高い、しかもそのほとんどは先生の弟子が孫弟子である。 水率にわたって増方文化を育て支えて来られた先生の功績に、われ われはまだ十分に親いているとはいえない。 ([60年話] より)

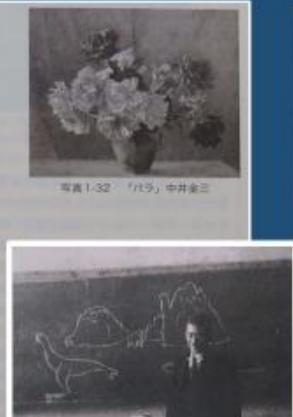




Photo: Scene of Kinzo NAKAI teaching a class (1941)

100th Anniversary Commemorative Publication

Issued by Kurayoshi Higashi High School, Tottori Prefecture (2009)

[Takeshima Reference Room collection]

In 1909 Kinzo NAKAI, a native of Kurayoshi City in Tottori Prefecture, for creating an art project for graduation from his art college, journeyed by ship to Takeshima to observe operations conducted by the Takeshima Fishing and Hunting Limited Partnership Company, a business at which his uncle (Yozaburo NAKAI) was its representative employee. Later, Kinzo NAKAI became a teacher. This is a commemorative publication of the Kurayoshi Middle School (now Kurayoshi Higashi High School) where he served until 1946. In remembrance of Mr. NAKAI, his fellow teachers stated in the publication that all his students had heard about "seal hunting" at "Takeshima" from him.